

あゆみ

2013年春季号(通巻93号)

発行:公益財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニュースレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

☎0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

メールアドレス tia@yui.or.jp



石川則男会長は外国駐在期間が長くいろいろな体験をされています。今年度、4回にわたって滞在記を寄せていただけることになりました。では、初回をどうぞ!(次回からは2ページへ掲載予定です。)

「21年余りの海外生活を振り返って」

アメリカ編

公益財団法人豊川市国際交流協会会長 石川則男



豊川市国際交流協会は多文化共生の町、豊川市を目指し日々活動を続けておりますが、これも豊川市のご支援と、そして大変多くの協会会員、ボランティアの皆様の多大なるご理解とご協力の上になりたっています。改めて感謝申し上げます。

私は30年前の1983年に米国ジョージア州のBRUNSWICK市に赴任いたしました。これが21年余りに渡る海外生活のスタートで、米国、カナダ、英国、ベルギーと転勤し、合計4か国で大変貴重な経験をさせていただきました。その中でどこが住みやすいですかとか好きですかと聞かれることも多いのですが、海外生活も家族、特に子供の成長と共にあるというのが基本で、幸いにも家族とつつがなく充実した時間を過ごすことが出来ましたので、それぞれの国とお会いした皆さんには愛着と感謝の気持ちでいっぱいです。その4か国の経験を拙文ですが、寄稿させていただきます。

最初の赴任地のBRUNSWICKは、フロリダ州との州境から北に30マイルに所在する港町で、4月から10月まで泳ぐことが出来る大変暑いところです。1年中、子供が気軽に外で遊べる自然に恵まれた場所です。またBRUNSWICK港はSHRIMP BOATと呼ばれる底引き網によるエビとワタリガニ漁業の基地で、牡蠣も大変美味しいところでした。人口の70%がアフリカ系米国人(いわゆる黒人)で、DEEP SOUTHと呼ばれる南部なまりの強いところです。赴任先の工場の隣はFBIの訓練センターで、毎日、爆弾のテストが行われ、爆発音が絶えないという信じられない場所でした。訓練センターはと

てつもなく広大でゴルフ場が完備されており、ゲートまで車で行き、「GOLFコース」と叫べば、私のような日本人を簡単に受け入れて一日8ドルでプレーさせてくれました。何というおおらかな国なのでしょう。米国の奥深さはこのような寛容性にあると思います。

そして赴任2年後の1985年に長女を授かりました。この年1985年はプラザ合意と呼ばれる円高の流れが決まった年で、その後、日本経済はJAPAN AS NO.1と言



ジョージア州港町サバナにて
石川会長夫妻

われる繁栄とその後のバブル期を迎えます。世の中、特に日本経済が大きく変化した年でした。

さて長女の出産の話ですが米国の医療システムでは産婦人科ホームドクターに診察をしていただき、実際の出産は総合病院で行うというものです。生まれた当日長女は、お披露目のためのガラス部屋にいました。生まれたばかりの赤ちゃん10名くらいと一緒にベッドでうつ伏せに寝ていました。長女は2450グラムで大変小さく、またほとんどの赤ちゃんは黒人でしたから、どの子が自分の子であるかはすぐにわかりました。驚いたのは生まれた初日にうつ伏せ寝で首を持ち上げていた赤ちゃんがいたことです。すごい体力です。陸上競技で黒人が強いのは当たり前だと納得しました。(3ページへ続く)



平成25年度の主な年間行事を紹介します



今年度の行事が決まりました。月ごとに主な行事をお知らせします。この他にも各部会でいろいろな活動を行っています。行事の内容や募集は、順次「We」「広報とよかわ」誌上でお知らせする予定です。詳細は事務局にお問い合わせください。

5月 -----

- ・初めてのハングル(夜)(15、8/7毎週水曜日)
- ・やさしい英会話(夜)(7~7/30毎週火曜日)
- ・基礎英会話(昼)(13~8/5毎週月曜日)
- ・ペクラ母の日会(未定)
- ・オイスカ青年研修生交流会(17)
- ・おいでん祭参加(25・26)

6月 -----

- ・日本語教室課外活動(2)
- ・国際理解講座(23)
- ・世界の料理教室(30)



7月 -----

- ・七夕交流会(6)
- ・キューパ姉妹都市35周年記念市民訪問団ツアー(9~16予定)
- ・キッズワールドサマースクール(14)
- ・高校生アメリカ・トリード市派遣(20~8/6予定)
- ・第5回チェコの夕べ(26)

8月 -----

- ・おまわりさんと話す会(上旬)
- ・使える中国語(夜)(22~11/28毎週木曜日)

9月 -----

- ・ラテンアメリカ部会市防災訓練参加(1)
- ・ラテンアメリカ部会パーベキュー交流会(1)
- ・日本語教室35期開講(7)
- ・料理でおいしいハングル(昼)(4~11/20 月2回水曜日)
- ・英会話初級A(昼)(3~11/19毎週火曜日)
- ・英会話初級B(夜)(4~11/20毎週水曜日)
- ・お月見交流会(15)
- ・トリード派遣高校生との懇談会(未定)
- ・「どんな国シリーズ」(29)

10月 -----

- ・ざっくばらんに話そう(未定)
- ・折り紙交流会(未定)
- ・ラテンアメリカ部会市田町内会行事参加(20)
- ・ワールドコラポフェスタ名古屋(27)
- ・ボランティア研修会(下旬)

11月 -----

- ・第4回豊川市日本語スピーチコンテスト(3)
- ・キューパティーノ思い出の写真展(未定)
- ・キューパ姉妹都市35周年記念市民団来豊(8~14予定)

12月 -----

- ・ワールドフェスティバル(8予定)
- ・ボランティア交流会兼忘年会(8予定)
- ・ペクラ「期末発表会」(未定)
- ・マレーシアジュニアフレンドシッププログラム来豊(未定)
- ・使える中国語(夜)(5~3/27毎週木曜日)
- ・英語で楽しいディスカッション(夜)(10~3/25毎週火曜日)
- ・英語ボランティアガイド入門(昼)(10~3/25毎週火曜日)

1月 -----

- ・やさしいスペイン語(夜)(8~3/26毎週水曜日)
- ・第4回東三河日本語スピーチコンテスト(26)

2月 -----

- ・節分交流会(2)
- ・日本語ボランティア養成講座(中旬~下旬)
- ・「どんな国シリーズ」(22)
- ・世界の料理教室(下旬)

3月 -----

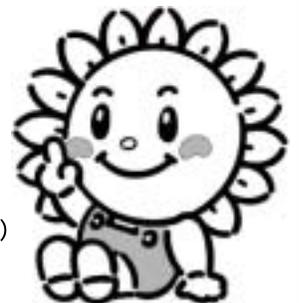
- ・日本語教室36期(夜)開講(1)
- ・日本語教室ひるまクラス4期開講(3)
- ・海外(トリード市)派遣高校生(4名)面接

日本語教室及びPECLA 通年開催(8月は除く)
 機関紙We年4回発行、ホームページでの情報提供
 運営委員会(毎月) 理事会・評議員会(年2回)
 (注意) 内容、月日など変更する場合があります。

ワイ!ワイ!ポイントカード

Wai! Wai!
Point Card

会員大募集!!



JAひまわりの事業利用でポイントを貯めて、値引きや商品交換に使おう!
 入会のお手続きは、JAひまわり各店舗まで!(グリーンセンター・Aコープ・金融店舗など)

ひと・夢・いいね。
JAひまわり

お問
合せ先

本店 企画課 豊川市諏訪1-1
 ☎85・3171

JAひまわり

検索

こんな行事がありました

節分交流会

2月3日 フレンドシップ部会



勤労福祉会館 2 階の和室で午後 1 時半から開催しました。参加者は 61 人（スタッフ含む）でした。

協会常務の挨拶の後、進行役の西牧瞳美さんの節分の話、北村京子さんの絵本の読み聞かせがありました。続いて、ボランティアグループ「そよ風」の皆さんによる三味線、オカリナ演奏と、歌、踊りでした。今回、「すわポン」に登場願って鬼と共に豆まきをしました。

文化講座「インドネシアってどんな国」

2月23日 世界の歩き方部会



勤労福祉会館視聴覚室で午後 2 時から開催しました。参加者は 63 人でした。講師は豊橋市在住のプス・マヤ・ブディさんでした。ブレイクタイムには「タフィシ」と「えびせんべい」を提供しました。「タフィシ」は原料が豆腐でできた皮に野菜などを詰めた揚げ物で、インドネシアのおやつだそうです。また、応援参加の豊橋技術科学大学の留学生 11 人が、竹楽器「アンクルン」の演奏を披露してくれました。演奏の後には体験演奏もできて、異国の音色に参加者は大喜び。最後にはマヤさんの民族衣装による踊りがあり、バラエティに富んだ内容に一同大満足な講座でした。

(石川会長の海外滞在記・表紙から続く)

BRUNSWICK には 4 年 8 か月滞りました。滞在中、フロリダ最南端の町、キーウエストまでは車で 14 時間、ディズニールランドまでは 4 時間、ケネディスペースセン

世界の料理教室「ペルーの家庭料理」

2月16日 世界の料理教室部会

勤労福祉会館調理実習室で午前 10 時から開催しました。講師はラテンアメリカ部会長の平野エスペランザさんと、参加者は 39 人（会員 11 人、一般 18 人、スタッフ 10 人）でした。メニューは エストファド・デ・ポジョ（ペルー風チキンシチュー） アロス・アル・エステーロ・ペルーアーノ（ペルー風ガーリックライス） カウサ・レジェナ（ペルー風ポテトサラダ） レチェ・アサダ（ペルー風焼きプリン）の 4 種でした。

カウサ・レジェナの作り方 材料（6 人分）

- ・ジャガイモ...8 個 ・サラダ油...50ml ・レモン...2 個
- ・ピーツ...100g ・チリ（アヒ・アマリージョ）...小さじ 1
- ・にんじん...1 本 ・グリーンピース...100g ・インゲン豆...100g
- ・卵...2 個 ・パセリ... 少々 ・塩 ・マヨネーズ



- 1, 卵は茹でておく。にんじんは皮をむき、茹でておく。レモンは絞っておく。
- 2, 鍋に水と塩をひとつまみとレモンのスライス 1 枚（分量外）を入れ、ジャガイモを皮付きで水から茹でる。
- 3, 茹で上がったら熱いうちに皮をむき、つぶす。
- 4, 塩、レモン汁、サラダ油、チリを加えて、手で滑らかになり少し粘りが出るまでしっかり練る。
- 5, ピーツは缶詰から出し 1cm 角に切る。茹でたにんじんは 1cm 角に切る。インゲン豆は 1cm に切り、グリーンピースと共に茹でる。マヨネーズで和える。
- 6, ケーキ型に 4, のジャガイモの半量を敷きつめ、その上に 5, の野菜を敷きつめ、4, の残りの半量でサンドする。
- 7, 上にマヨネーズ、茹で卵、パセリを飾る。



株式会社

ヒミカ

〒441-8019

豊橋市花田町字荒木 95 番地

Tel: (0532) 31-0012

Fax: (0532) 31-0190

<http://www.himika.co.jp>

コンピュータのことなら、なんでもご相談下さい。

LAN・ネットワーク構築

ハウジング・ホスティングシステム管理

受託計算

システム設計開発

第3回東三河日本語スピーチコンテスト原稿紹介

1月20日(日)午後1時30分から蒲郡市民会館東ホールで東三河日本語スピーチコンテストが開催されました。東三河日本語スピーチコンテスト実行委員会、東三河5市の国際交流協会が主催して開いたもので、今回で3回目になりました。



5市から選抜された参加者は、小・中学生の部に14人、高校生以上一般の部に9人の合計23人でした。豊川市からは、昨年11月に開催した豊川市日本語スピーチコンテストで入賞した4人が出場し、小・中学生の部では谷口タケシさんが最優秀賞を、ドバルみえこさんが優秀賞を受賞、高校生以上一般の部は和田明さんが特別賞を受賞と、豊川勢が大活躍しました。3人のスピーチ原稿を紹介します。掲載文は提出していただいた原稿のとおりです。また、学校と学年はコンテスト当時のものです。

最優秀賞 谷口 タケシ 豊川市立代田中学校3年、ブラジル 「今のぼくにできること」

ぼくの将来の夢は、医療機関の仕事に就くことです。

ぼくの母は、病気で苦しんでいます。そんな母と、5年前から毎月病院へ通っています。母とお医者さんの間で通訳をするためです。

病院では、担当の先生が、「お母さんの様子はどう」「お母さんは元気にしていますか」とまずぼくに聞いてきます。そのたびに頼られているという思いと、母の役に立っているという思いがして、母の様子をなるべく詳しく伝えられるように気をつけて話すようにしています。

母は病気を治すために多くの薬を飲んでいますが、中には副作用で寝込んでしまうものもあります。母が苦しんでいる所を見ると自分もつらくなります。兄も父も同じ思いです。そんな時、看護師さんが、「タケシ君が元気にならないと、お母さんも元気にならないよ」と声を掛けてくれました。患者さんだけでなく、家族のことまで覚えて、心配してくれてすごいと思いました。

この経験を通じて次第に、将来は医療関係の仕事に就いて、人の役に立ちたいと思うようになりました。

そのため、普段から困っている友達に声をかけたり、けがをしている子の手伝いをしたりするように心がけています。病気を治したりはできないけれど、友達の役に立てたら嬉しいからです。

これからも、母を助けながら、人の役に立てるように勉強していきたいと思います。

優秀賞 ドバル みえこ 豊川市立千両小学校4年、ブラジル 「わたしの日本とブラジルの暮らし」

わたしがブラジルにいたころ、パパは二つの仕事をしていてもきゅうりょうが少なく、生活が大変でした。それで、パパは遠い遠い町へ働きに行き、1か月に1回くらいしか帰ってこなくて、わたしにはつらかったです。

5才で日本へ来たとき、わたしは、日本語がまったくわかりませんでした。そこで、5日間だけブラジルの保育園へ行きました。それから、ちょうどわたしのたんじょうびの10月1日から、日本の保育園へ通い始めました。

わたしは、年長さんとして入ったから、とてもこまりました。年長さんは、みんなの世話をしないとイケないからです。ちっちゃい子が「お姉ちゃん、来て」とか「お姉ちゃん、遊ば」とか言っても、わたしには、何を言っているのか、ぜんぜんわかりません。先生が「外で遊んでね」と言ったときも、わたしにはわからなくて、みんなの動きを見て、まねをしました。

給食で初めてみそしるを見たとき、何、これ?と思ったけど、飲んでみたらおいしかったです。それから、ずっとみそしるが、大好きになりました。

先生は、身ぶり手ぶりで、わたしに話を伝えようとしてくれました。わたしは、だんだん日本語をおぼえてい



行政書士小柳津えみ事務所
Administrative Documentation Attorney
Despachante Credenciada

入管手続・国籍関係手続

Immigration Procedures
Nationality Procedures

Procedimentos de Imigração
Procedimentos Relativos
à Nacionalidade

豊川市御油町栗木山152番地

TEL 0533-80-1801

FAX 0533-80-1802

E-mail emi@fb3.so-net.ne.jp

プラス・ワンからはじまる可能性。

共和印刷株式会社

本社 ● 〒441-8042 豊橋市小池町36番地の1
tel.0532-46-3281 fax.0532-46-3285

きました。

パパとママは日本語を勉強して、市役所の人と話し、千両住宅へひっこしました。千両小学校でも、みんなはやさしく日本語を教えてくれたから、とてもかんしゃしています。

ブラジルでは、パパとはなれてくらしがさびしかったし、日本にいと大きい兄ちゃんに会えなくて、さびしいです。だけど、生活のことを考えたら、ずっと日本です。だから、わたしは、さびしさを見せないで、明るく元気にがんばっていきます。

特別賞 和田 明

アレグリアデサベル豊橋高校1年、ブラジル「人生の壁」

僕は1歳のころにブラジルから日本にきました。幼稚園から小学校へ入学するころに、文化の違い、言葉の違い、という壁にぶつかってしまったのです。

その壁はだんだん大きくなり、同級生から仲間はずれに合いました。

ずっと一人ぼっちでいたそんな僕に優しく話しかけてくれた男の子がいました。

その子は僕の初めての友達でした。彼のおかげで僕はさらに友達が増え、あの壁を乗り越えることが出来たのです。

友達が出来たあの喜びは今でも覚えています。ずっとずっと皆と一緒に居たいと思っていました。皆もそう思っていました。

でもそれは無理だったのです。僕は親の事情でブラジルへ帰る事になり、大好きだった皆と離ればなれになってしまいました。

それから何年かたち、また日本へ帰って来ました。だけど前とは全く違う場所であり、日本語も少し忘れかけていたので、とりあえず近くのブラジル人学校へ通い始めました。

ブラジル人学校をやめ、中学校へ入学する事になりました。

友達をまた作って、良い学校生活を送れると思っています。

ました。

ですがまたあの壁が出来てしまったのです。小学校の壁とはくらべ物にならない位大きかったのです。ブラジル人という事で、キモイと言われたり、無視される事は少なくなかったです。

毎日クラスで一人ぼっちが辛くて休みや早退の連続でした。

親や担任の先生にも大変迷惑をかけてしまいました。

ある日父親は「毎日あいさつをしろ」と言ってくれました。それから毎日少しずつ同級生に、「おはよう」「さよなら」と言い始めたおかげで、中学2年生になった日は、多くはなかったですが確かに友達と呼べる人達はいました。

そしてやっとあの大きくて自分を苦しめていた壁をもう一つ乗り越える事ができたのです。

これから先もきっともっと大きな壁があるでしょう。

でも僕はあきらめなければ絶対乗り越えられると信じています。

今僕は、ブラジル人用高校へ通っています。卒業したらブラジルへ帰るつもりです。

そしてあっちで僕みたいに人生の壁で悩んでいる人達の力になりたいと思っています。

豊川市日本語ボランティア養成講座を開催

2012年度の講座を、豊川市勤労福祉会館にて以下のとおり開催しました。受講者は24人で、日本語の教え方だけでなく、災害時での外国人への情報提供の仕方などを学び、大変有意義なものでした。

- 第1回目 日時：2月16日(土)午後2時から4時まで
講師：名古屋YWCA講師 伏屋由美さん
内容：みんなの日本語 の教え方のポイント
- 第2回目 日時：2月23日(土)午後2時から4時まで
講師：名古屋YWCA講師 伏屋由美さん
内容：みんなの日本語 の教え方のポイント
- 第3回目 日時：3月2日(土)午後2時から4時まで
講師：名古屋YWCA講師 山田慶江子さん
内容：「やさしい日本語」ワークショップ

北海道の海の幸、大地の恵みをお届けします

北海道

～宴会・法事・各種お集まり～ 個室50名様

〒442-0823 豊川市正岡町流田508
TEL 0533-80-7077 FAX 0533-80-7088

村松書店

〒442-0041 豊川市旭町6番地
TEL (0533) 86-3810
FAX (0533) 86-2682
E-mail add.
mbooks@amitaj.or.jp

三蔵子町 ロポ・アレックス

私は、アフリカにあるアンゴラ共和国という国の出身です。アフリカ大陸では大西洋側、赤道より南部に位置します。日本でアフリカと聞くと、「動物、暑い、サバンナ(草原)」をイメージする様で、「ゾウやライオンはいるの?」とよく聞かれます。私はルアンダ市という首都の出身で、若い頃から南アフリカのケープタウンに住んでいましたので、残念ながらゾウやライオンは動物園でしか見たことがありません。ルアンダ市は旧宗主国のポルトガル人によって建設された港町です。2002年の内戦終了後から建設ラッシュで町の様子がどんどん変わっていています。私は4年近く国へ帰っていませんが、電気や水道などのインフラ整備が進み、インターネットも普及して



ます。アンゴラでもスマートフォンが人気です。ケープタウンもルアンダ市も都会ですので、豊川に初めて来たときには「何もない田舎だな」と思いました。しかし、住んでいくと静かで交通の便もよく、住みやすい町であることが分かりました。佐奈川沿いに咲く桜もきれいで、毎年楽しみにしています。また、治安の良さや店員がよく教育されている事にも感心しました。特に、ガソリンスタンドの店員さんの接客には驚きました。アンゴラでは、ガソリンスタンドに他の車がたくさん待っているからと「早く出発して」と急かしてくることもあります。日本では、スタンドから出る際には道路にでて他の車を止め、お辞儀をして「ありがとうございました!」と言ってくれる所があります。このようなサービスを受けると「またこのお店に来よう」と思います。奥さんに「日本に来たときにはお辞儀をしなかったけど、今はよくしているね」と言われました。自分では気が付きませんが、お辞儀をする人たちを見て知らないうちに真似していたようです。



日々変わっていく景色

インターネットも普及して
ます。アンゴラでもスマート
フォンが人気です。

ケープタウンもルアンダ

市も都会ですので、豊川に初めて来たときには「何もない田舎だな」と思いました。しかし、住んでいくと静かで交通の便もよく、住みやすい町であることが分かりました。佐奈川沿いに咲く桜もきれいで、毎年楽しみにしています。また、治安の良さや店員がよく教育されている事にも感心しました。特に、ガソリンスタンドの店員さんの接客には驚きました。アンゴラでは、ガソリンスタンドに他の車がたくさん待っているからと「早く出発して」と急かしてくることもあります。日本では、スタンドから出る際には道路にでて他の車を止め、お辞儀をして「ありがとうございました!」と言ってくれる所があります。この様なサービスを受けると「またこのお店に来よう」と思います。奥さんに「日本に来たときにはお辞儀をしなかったけど、今はよくしているね」と言われました。自分では気が付きませんが、お辞儀をする人たちを見て知らないうちに真似していたようです。

南米の方が多く住んでいることも豊川の利点です。他のアフリカ諸国では、スワヒリ語などの公用語や現地語が使われることが多いのですが、私の生まれたルアンダ市ではポルトガル語が主に使われており、私にとってはポルトガル語が母国語に近い状態です。南米人の多く住むこの地域では、市役所からポルトガル語でお知らせが来たり、仕事場にポルトガル語の通訳がいたり、なにかと便利です。

日本には約5年住んでいます。その間に、色々なことを経験しました。例えば、来日して1年後の2008年にリーマンショックが起き、当時オートバイの工場に働いていましたが、多くの外国人が仕事を失い、私もそのひとりでした。少し景気が戻り、再び同じ工場に働いていると、今度は東日本大震災があり、生産が不安定になったため、再び仕事を辞めることになりました。不安に思うこともありましたが、自動車の免許やフォークリフトの免許など資格を取り、前向きに暮らすようにしました。あと、日本で働いていて気になることは「黒人で体が大きいから多く働ける」と期待されることです。悪気はないと思うのですが、身体的な特徴で仕事量を決められるのは少し不公平な気がします。

現在は人工芝の施工をしています。この仕事場には通訳がいませんが、社長さんや他の職人さんからのアドバイスを聞いて仕事をしています。おかげで日本語の理解が以前より良くなりました。社長さんは「良い事・悪い事」をはっきり言ってくれるので、わかりやすいです。



娘と散歩中

将来はアフリカに関連する事をしてみたいと思っています。まだ具体的に決めてはいませんが、日本の人たちにアフリカの事をもっと知ってもらいたいという願いがあります。日本での生活は大変なことも多いですが、助けてくれる人たちもいました。

これからも家族と一緒に楽しく生活していきたいです。

パティスリー
ラ・プティ・メゾン
PÂTISSERIE LA PETITE MAISON

素朴な本場フランス菓子を
取り揃えてお待ちしております。
TEL : 0533-65-8088
豊川市八幡町鐘鋳場180
●営業時間/AM8:30 ~ PM7:00
●定休日/月曜日

あけみ
すやま接骨院
乳産科
日立製作所

インドカレーと焼きそばの専門店
バンダナ
BANDANA
INDIAN RESTAURANT

http://www.sinbandana.com/
パティスリー等のオクトブルも承っております。お気軽にご相談下さい。
ご注文は TEL (0533) 83-3353 まで!!

営業時間 AM11:00 ~ PM 3:00(オーダーストップPM2:30)
PM 5:00 ~ PM10:00(オーダーストップPM9:30)
豊川市枝木通6-13 水曜定休(祝日の場合は営業)

コゴ
シブトラク

派遣期間 平成22年10月～平成24年10月

小坂井町 藤 保人

先号では、派遣国での私生活事情とその教訓を書きました。今号では、派遣国に入国するまではほとんど知らなかった、ドミニカ共和国へ集団移民された方々との予想もしなかった出会いについて書きます。当国には、戦後まもなく日本から集団移民して来られた方々が、今も住んでいます。その方々と貴重な交流をさせて頂きました。JICAは、日系移民三世、四世の為に日本語教育のお手伝いするボランティアも派遣しています。

ドミニカ共和国に来て2カ月頃に、日系日本語学校のボランティアの方から、当国の中央山岳観光都市であるハラバコア市の日系移民の家族の定例会で、日本の昔の懐かしい歌をトランペットで演奏して欲しいとの依頼があったのです。曲目の希望があり、“故郷”“おぼろ月夜”“瀬戸の花嫁”など全7曲でした。場所はハラバコア市で92歳の長老であるおばあちゃんの家で、夕方の7時から始まる集会との話でした。楽器は暇潰しにと思って日本から持参しましたが、思わぬ出番が来ることになりました。現地校では歌を練習しておくので、伴奏をしてほしいとの話でしたから、私もその集会の日まで自宅アパートで1カ月程練習をしました。



ハラバコア市の日本庭園

自宅アパートでのトランペット練習で都合が良かったことが2つありました。1つ目は、アパートの建物がコンクリートブロックで作ってあり、室内の音の響きが良く、気分良く練習出来たこと。2つ目は、この国では大きな音はほとんど苦情にならず、またそれを気にしない大らかなお国柄だったことでした。例えばクリスマスなどの特別の夜は、大音響のラテン音楽で深夜まで騒ぐ風習もありましたから...

演奏会は夕方からの演奏でしたから、騒音の苦情の心配をしてミュート（消音器）を持参しましたが、「必要無いよ」と現地代表者の方から助言をうけました。それから大変驚いたことに、それぞれの曲目の歌を全て1番から最終番まできっちりと歌われるのです。トランペ

ットの演奏は、肺活量が必要で体力を使います。全ての曲目を最終番まで伴奏することとなって、7曲が終わったらへとへとになってしまいました。本当に疲れました。



日本の歌の演奏会

また日系一世、二世の人達は、ほとんどの人が歌詞を全てきっちり暗記していて、歌詞の意味も詳しく勉強していて、解説までしてくれる人もいて、本当にびっくりしてしまいました。我々日本に住んでいる日本人より詳しく日本の文化を勉強して、子孫に継承しようという強い思いが伝わってきました。

演奏会が終わって地区の代表の方のお宅にお邪魔してドミニカ共和国で初めての“お雑煮”をご馳走してもらいました。自宅のお風呂を拝見すると、立派な“五右衛門風呂”で仰天しました。

派遣生活で最も大変だった事は、当然ですが「食」でした。ドミニカ共和国ではドミニカ米を常食として食べています。ドミニカ米は、日本のご飯と違ってお箸を使っては上手に食べることができません。パラパラなのでおにぎりもうまくにぎれません。派遣後半の1年間は、日系移民の方が耕作している「うるち米」を教えてもらい、隣町まで買いに行っていました。



立派な五右衛門風呂

最後になりますが、現地の代表的果物（マンゴが4月～9月、アボカド＝アグアカテが10月～3月）は年間をちょうど二分して楽しめず。全て新鮮で、安くて、美味しく、健康にもよくて、私は毎日果物を



大きなマンゴは20円 大きなアガ 30円

購入しました。海外ボランティア活動において、私生活で最も至福の時を感じた、忘れられない思い出の一つです。

おわり

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

思い出に残る旅ご提案します

個人旅行 国内旅行 団体旅行 海外旅行

グループ旅行 団体旅行 車見取り無料!

株式会社 トラベル東海

本社 営業所 TEL.0533-84-7115

豊橋本町バス停留所 営業時間10時～18時(日・祝休み)

趣味の民芸・土産・造花フラワー店



(株)林電工



恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 ☎(0533)85-9977

INFORMATION

国際理解講座

日 時 6月23日(日) 午後2時～4時
場 所 勤労福祉会館視聴覚室
定 員 80人 参加費 会員500円、一般800円
講 師 豊川出身の物理学者 大須賀闘雄ケネスさん
内 容 「日本の常識が海外で通用しないー知っておかないと失敗する文化の違い」
申込み 5月20日(月)から電話で事務局へ。先着順

世界の料理教室「タイ料理」

期 日 6月30日(日) 午前10時～午後1時
場 所 勤労福祉会館調理実習室
定 員 30人
受講料 会員600円、一般800円
講 師 タイ料理「サワディ」の熊谷ハイラチットさん
申込み 6月7日(金)までに電話で事務局へ。
応募者多数の場合は抽選。

七夕交流会

日 時 7月6日(土) 午後1時30分
場 所 勤労福祉会館視聴覚室
定 員 60人 参加費 200円
内 容 地域在住の外国人と一緒に七夕にちなんだ歌やゲームを楽しみます。
申込み 7月1日(月)までに電話で事務局へ。

キッズワールドサマースクール

期 日 7月14日(日)
行き先 鳳来寺山(新城市)
対 象 市内在住の小学4年生～6年生
定 員 38人 参加費 1,000円
内 容 自然の中で、いろいろな国の友達と楽しく過ごします。
申込み 6月24日(月)から電話で事務局へ。先着順

第5回チェコの夕べ

期 日 7月26日(金) 午後6時30分(開場午後6時)
場 所 音羽文化ホール
入場料 全席指定1,200円、当日券1,500円
内 容 チェコ共和国の歌姫ズデンカ・メルヴォヴァーさんによる微笑の歌曲と朗読を鑑賞します。
入場券販売・問合せ先
協会事務局または音羽文化ホール(電話88-8010)

事務局職員の異動

4月1日付けで事務局職員の異動があり、あいさつを寄せていただきました。



新事務局長 中内 保さん

このたび、国際交流協会の仕事を担当することになり、責任の重大さを感じております。今年には市制施行70周年にあたり、B-1グランプリの開催をはじめキュパティエーノとの交流事業など、国際交流協会の活動にも関わりが出てきそうです。

こうした中で、国際交流協会としては、いろいろな活動を通して、これまで同様、出会いやふれあいの輪を広げる機会やきっかけづくりを進めていきたいと考えております。今後とも精一杯努めてまいりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

前事務局長 森 敏行さん

国際交流協会にお世話になって4年間があっという間に過ぎ去った感がありますが、多くのボランティアの皆さんとの出会い、そして、その熱い思いに触れることができたことが一番の思い出となっています。この4年の間には、協会の設立20周年記念事業や組織の公益財団法人化、中高生の海外派遣、日本語教室の拡充など多くの事業や取り組みがありましたが、皆さんの多大なご協力のおかげで無事終えることができ、大変感謝しております。ありがとうございました。これからも協会が、更なる地域の国際化、多文化共生社会づくりに貢献され、ますます発展されることを心からお祈りいたします。

豊かなくらしのお手伝い



豊川信用金庫

本店 豊川市末広通3丁目34番地の1 ☎(0533) 89-1151(代)